

2013 年度理事会議事要録

2013 年度 第 1 回 理事会 (メール審議)

期間：2013 年 4 月 2 日～5 日

議 題：

1. 2012 年度の学会賞受賞者の決定について

編集理事の大西俊郎先生から、編集委員会において今年度の学会賞の受賞候補者が下記のとおり選定されたことのご報告があり、今年度の学会賞の受賞者について理事会で承認した。

【優秀論文賞】

41-01：2 次多項式回帰曲線の正值性検定
加藤直広、栗木哲

【奨励論文賞】

41-07：誤差相関のない確認的直交二因子モデルの探索可能性について
水関裕人、黒木学
(投稿当時 35 歳以下の著者である水関裕人氏が受賞候補者)

2013 年度 第 2 回理事会 (対面)

日時：2013 年 5 月 12 日 (日) 14:00-16:30
場所：(公財) 統計情報研究開発センター会議室 (東京都千代田区)

出席者：川崎会長、瀬尾副会長、會田、上田、大西、岸野、竹内、椿、中西、水田、鈴木、渡辺 各理事

欠席者：黒木、藤井、山田 各理事

議 題：

審議事項

1. 評議員会・総会に提出する議案・資料の検討・確認

(1) 2012 年度事業報告 (案) 及び 2012 年度会計報告 (案)

庶務理事及び会計理事から 2012 年度事業報告 (案) 及び 2012 年度決算報告 (案) の説明があり、理事会によって了承された。ページチャージ制、学会事務委託費の減額等について議論された。

(2). 2013 年度事業計画 (案) 及び 2013 年度予算 (案)

庶務理事及び会計理事から 2013 年度事業

計画 (案) 及び 2013 年度予算 (案) の説明があり、理事会によって了承された。学生会員から正会員になる際の扱いなどについて議論された。

2. その他

(1). 2014 年度年会の開催準備

・2014 年度年会については、応用統計学会側の当番になる。東京で 5 月下旬又は 6 月中旬を候補として、他学会の開催状況も見つつ、日本計量生物学会側と相談することで了承された。5 月下旬の平日は、会場の確保、大学での授業への支障など不便なことが多いので、将来的には時期変更も検討した方が良く、2014 年度は連合大会が東京大学で行われる、などの意見があった。

(2). 2013 年度統計関連学会連合大会の「コンペティション講演」の審査員 2 名の選出
川崎会長、椿理事の 2 名を審査員として登録することで承認された。

(3). 統計関連学会連合において作成された「統計家の行動基準」への対応
以下の補足説明があった。

・あくまでも統計学会連合の理事会で決定するものであり、各所属学会はその会員の行動を縛るような拘束力のあるものではなく、統計家としての原理原則、大卒の参照基準を示すもの。必要なら各学会独自に作成すればよい。学会員が誓約するとかそういうものではない。

・応用統計学会としては、連合に所属する学会として、意見があれば提出するので、理事会の意見として提出する。

・一旦決定したら変更できないものではなく、一定の時期が経過したのち、不備・不都合な点などが生じれば、また見直すこともありうる。

・9 月には統計関連学会連合理事会でこういうものができた、という話になると思われる。

審議の結果、6 月 29 日までにコメントを求められているので、後で理事の方に原案など送付するのでコメントを集め、会長から連合理事会に返すことで異論なく承認された。

報告事項：

1. 2013 年度年会の開催準備・運営について

・企画担当理事から福島での年会の準備状況が報告された。

2. 2013 年度統計関連学会連合大会の準備状況等

・今年は、企画セッションでは、受賞者講演の1つだけ。

その他：

1. 応用統計学会としての名簿の作成

当学会では、長年名簿を作成していない。会長選挙の際には、氏名・所属だけを記した名簿は配られてはいる。名簿の作成について意見交換がなされ、今すぐに名簿を作るまでのことはないが、名簿の管理ルールなどをもう少し明確化して、それから名簿を作ることを考えてもよいのではないか、ということとなった。

2013 年度 第 3 回 理事会 (メール審議)

期間：2013 年 7 月 17 日～18 日

議 題：

1. 「第 16 回情報論的学習理論ワークショップ (IBIS2013)」に対する協賛名義使用について

産業技術総合研究所 津田 宏治氏から当学会に対して、11 月 10～13 日に 電子情報通信学会 (情報論的学習理論と機械学習 (IBISML) 研究会) 及び統計数理研究所の共催により開催される「第 16 回情報論的学習理論ワークショップ (IBIS2013)」について協賛名義の協力依頼があり、理事会として承認した。

2013 年度 第 4 回 理事会 (メール審議)

期間：2013 年 9 月 24 日～26 日

議 題：

1. 2013 年年会 (福島) の負担額について

負担額については当初からの約束で、会場費等をいったん日本計量生物学会が負担し、その一部分について、後日、応用統計学会に負担を請求する、となっていた。今回日本計量生物学会から、全体の経費が

約 120 万円であり、応用統計学会にはそのうちの 10 万円～20 万円を負担して欲しい旨連絡があり、応用統計学会として 20 万円負担と決定する。

2. 2014 年度年会の開催日及び開催場所について

2014 年度年会について、時期は 2014 年 5 月 22 日 (木) ～24 日 (土) (22 日・23 日が応用統計学会、23 日・24 日が日本計量生物学会) とし、場所は統計数理研究所と決定する。

両議題について理事会として承認した。

2013 年度 第 5 回 理事会 (メール審議)

期間：2014 年 2 月 5 日～7 日

議 題：

1. 「ビックデータサイエンティストの未来創造のための第 1 回データビジネス創造コンテスト～ソーシャルデータ分析編～」への後援名義使用について

慶應義塾大学 SFC データビジネス創造・ラボより、慶應義塾大学 SFC データビジネス創造・ラボ及び NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社が主催し、統計数理研究所が共催する、データ解析コンペティション (NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社から提供される SNS データの解析のコンペティション) への後援名義使用について申請があり、理事会として承認した。

2013 年度 第 6 回 理事会 (メール審議)

期間：2014 年 3 月 24 日～28 日

議 題：

1. 応用統計学会優秀論文賞および奨励論文賞の決定について

学会誌編集理事から、3 月 21 日に行われた応用統計学会優秀論文賞および奨励論文賞の選考会で、以下の論文が選ばれたので、審議をお願いしたい旨連絡があり、理事会で審議した結果、以下の報告の通り承認した。

【優秀論文賞】

41-05: Multiple Imputation 法による 2 段

階ケースコントロール研究の解析

*野間久史, *田中司朗

【奨励論文賞】

42-03: 方向統計学の利用による地震緯
度・経度・マグニチュードデータの解析

*王 敏真, 清水 邦夫, 上江洲 香実

(*が受賞対象者)